

令和3年度 第1回さいたま市民大学運営委員会 議事録

1 開催日時

令和3年7月30日（金） 午後2時から午後3時45分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

3 出席者

〈委員：9名〉

- ① 神保 富美子 委員長
- ② 安藤 陽 副委員長
- ③ 青木 光美 委員
- ④ 飯塚 真澄 委員
- ⑤ 井上 直也 委員
- ⑥ 岩井 寛和 委員
- ⑦ 寺田 道子 委員
- ⑧ 難波 陽子 委員
- ⑨ 林 勇 委員

〈事務局：8名〉

生涯学習総合センター

- ① 館長 吉田 治士
- ② 参事兼副館長 中村 和哉
- ③ 参与 野崎 隆史
- ④ 主幹兼事業・企画係長 有江 良修
- ⑤ 事業・企画係主任 曾根 啓佑
- ⑥ 事業・企画係主任 三井 響子
- ⑦ 社会教育指導員 渡邊 京子
- ⑧ 社会教育指導員 永井 紀美子

4 欠席者名

〈委員：2名〉

- ① 桑原 静 委員
- ② 平田 利雄 委員

5 報告事項

- (1) 令和2年度さいたま市民大学実施結果について
- (2) 令和3年度さいたま市民大学実施状況について

6 協議事項

(1) 令和4年度さいたま市民大学各コース（案）について

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 開会

委嘱状の交付、各委員の挨拶、正副委員長を選出を行った。

選出に当たっては、昨年度の委員長、副委員長に継続していただきたい旨、委員から推薦があり、神保委員が委員長、安藤委員が副委員長に就任することとなり、委員に承認された。

10 報告内容

(1) 令和2年度さいたま市民大学実施結果について、事務局から資料1を基に説明。

(2) 令和3年度さいたま市民大学実施状況について、事務局から資料2を基に説明。

以下、質疑等の内容

神保委員長	令和2年度の実績を見ると、受講者の平均年齢が若返っている様子が見られた。
岩井委員	オンラインで実施することについて、受講者からはどのような意見が出ているか。
事務局	昨年度の講座について、講座の期間中にオンライン形式に切り替えた講座があったが、オンラインになった途端にキャンセルした受講生もいたことから、オンライン形式に思うところがあったのかと感じている。 一方、アンケートによると、オンライン形式で利便性を感じた、講師の進行がスムーズでよかった、といった感想が寄せられていた。 今年度については、会場とのハイブリッド型だったこともあり、会場で受講するのと変わらない、質問等にも対応してもらってよかった、という声があった一方、講師の声が聞き取りづらいという声や、通信が不安定になることがあった、といった声も聞かれた。
岩井委員	そういった状況ならば、受講者側で通信環境等を整えられれば、オンライン形式で行うことに支障はないように感じる。
難波委員	昨年度の運営委員会でも、受講者側がオンラインのツールに不慣れだと、その時点で受講を躊躇してしまうことがある、という意見が出され、今年度のパソコンコースにWeb会議入門講座が新設されること

	<p>につながった。</p> <p>この講座の受講者が今年度のオンライン講座に参加している、といったデータがあると、講座の意義が明確になると思うが、状況はいかがか。</p>
事務局	<p>受講者のクロスチェックは行っていないが、講座の効果を測るためにそうした項目も確認していく。</p>
神保委員長	<p>現時点でダイレクトな効果が図れていないのは仕方ないが、重要な視点だと思う。</p>
事務局	<p>オンライン講座については、昨年度から手探りで実施しているところではある。</p> <p>公民館の講座の中には、実施前にプレ講座としてオンラインツールの使い方を教える、といった取組もある。</p>
安藤副委員長	<p>定員と応募者、受講者の人数について、途中でキャンセルすることも見越して、応募者が多い講座については定員より多い人数でも受講者として認めていいのではないか。特に今年度は、実績だけでみると定員割れとなった講座ばかりに見えるので、もったいなく感じる。</p>
事務局	<p>一人でも多くの方に受講して欲しいという気持ちはあるが、同時に新たな生活様式に対応した講座実施ということを考えると、受講者同士の距離を適切に保った座席配置にするために、定員以上の受講者を受け付けるのは難しい。</p> <p>今後、新型コロナウイルスの感染状況が収まってくれば、そうした対応も検討できると思われる。</p>

11 協議内容

(1) 令和4年度さいたま市民大学各コース（案）について、資料3・4を基に説明。
以下、質疑等の内容

神保委員長	<p>本日は来年度案について、全体の枠がこの形でよいかというところと、未定になっている部分について意見をいただければと思う。</p> <p>次回会議では、本日出された意見を反映した案が出され、改めて協議をしていくことになる。</p>
青木委員	<p>資料4で、30代以下の受講者という指標があるが、この方々の参加を増やすためには、参加できる環境を作ることが第一となる。その観点から、例えば教養Ⅰ・Ⅱの日程では、そうした年代の方々が参加するのは難しいのではないかと思う。</p> <p>30代以下の方に参加してもらうには、テーマと日程が大変重要である。昨年度の実績を見ると、30代以下の方が多く参加しているのはビジネススキルや暮らしとお金、パソコンであり、文学や歴史といったテーマだとこうした年代の方が少ない傾向がみられる。</p>

	<p>若い世代の興味関心という点では、例えば文学コースでライトノベルを扱うなど、従来のコースよりも対象を限定した内容を検討してもいいかと思う。これから日程や講師を検討していく中で、こうした点も考えていく必要がある。</p>
神保委員長	<p>根幹にかかわる話で、枠を維持して中身を変えるか、枠自体を変えていくかということにもなるかと思う。</p>
事務局	<p>例えばパソコンコースの3番、ホームページの作り方を学ぶ講座は、平日の夜に実施したいと考えている。</p> <p>また、さいたまの食については、ヨーロッパ野菜が着目されている中で、調理の実習を行うところが肝である。実習であれば、平日の昼であったとしても、主婦など関心の高い方は参加してくれるのではないかと考えている。ただ、実習を行えるかは講師が決まってからの調整となる。</p> <p>職員が限られている中で、すべての講座を夜間や土日に実施することはできないが、ある程度絞ったうえで若い世代に特化した内容の講座を設けていきたい。</p>
寺田委員	<p>先ほどの意見に加える形になるが、若い世代が参加しないのは、参加したいと思う講座が見つからないということもあると思う。</p> <p>例えば未定の枠で、埼玉県にはアニメの聖地もあるので、そうした分野も取り入れてはどうかと思った。</p> <p>また、公民館の夏休み子ども公民館事業は子どもに大変人気なので、市民大学でも夏休み期間に講座を実施できると、小中学生の参加が見込めると思う。</p>
事務局	<p>「アニメの聖地」といった切り口は、ニーズと合致すれば爆発的な人気が見込めると思うので、さいたまの魅力として講座に組み込めないか検討したい。</p> <p>子どもを対象とした事業としては、青少年宇宙科学館と連携して行う科学コースがあり、大変人気となっている。</p>
井上委員	<p>昨年度も意見したが、全体的に理系の講座が少なく感じる。特に科学コースは小中学生を対象としているので、一般向けの科学や工学に関する講座が少ない印象を受ける。</p> <p>例えば科学コースをⅠ・Ⅱと分けて、大人向けの講座を作るのはどうか。ただし、この場合は参加してくれるような面白いテーマを設定できるかどうかにかかっていると思う。</p> <p>受講者が期待できるテーマとして、私はノーベル賞が面白いと思うので、例えば11月の発表から間をあけずに実施できるといい。埼玉大学や芝浦工業大学など市内の大学の協力を得られれば実現できるかと思うので、検討して欲しい。</p> <p>開催時期について、市民大学自体が3月まで実施できるのであれば、冬休みや春休みの活用を検討してもいいと思う。</p>

事務局	<p>科学が手薄であることについては、職員の苦手意識もあるかと思うので、ぜひ皆さんの意見をいただきたい。</p>
岩井委員	<p>講座案を見ると、充実した内容が多いと思うので、どうやって30代以下の方を取り込むのが課題だと思う。</p> <p>その中で、市民大学の講座を何で知ったかを見ると、市報やチラシなど紙のメディアを通じて情報を入手した方が多いようなので、設置場所を工夫したり、若い人の目につくような記事の書き方にしたり、といった広報の仕方を考える必要もあると感じた。</p>
事務局	<p>ご指摘の通り、インターネットを通じた広報と併せて、紙のメディアにおいても、より効果的な広報活動を行いたい。</p> <p>また、今後社会教育実習など、大学生が生涯学習総合センターに実習に来る機会があるので、その際に広報に関するヒントをもらいたいと思っている。</p>
事務局	<p>市民大学は職員が手作りで企画しており、講師依頼も体当たりで行っているところがある。</p> <p>一方、テーマを決めるためのアイデアが弱いところであるため、例えばこういう講師が人気である、といった情報をいただくと、職員も交渉しやすいので、ぜひご協力をお願いしたい。</p>

12 その他

令和3年度運営委員会等のスケジュールについて、事務局から資料5を基に説明。

13 閉会